



甲斐市立玉幡小学校 令和元年度 学校だより 第8号

# チーム玉幡

令和元年7月23日

学校長 丸茂和也

## みんなで作る「なかよしタイム」♪

7月18日（木）給食後の時間帯に、今年度2回目の「なかよしタイム」がありました。縦割り班のリーダーである6年生を中心に、班ごとにいろいろな遊びやゲームなどが行われました。どの教室にも、うれしそうな笑顔があり、ゲームなどが盛り上がると歓声が上がり、全校みんなと先生方とで楽しいひとときを過ごすことができました。



この「なかよしタイム」の良さは、学年の垣根を越えて、楽しみながら異学年との交流を図れることです。初めのうちには、「このゲームはこうするんだよ」「まちがってもいいよ。思い切りやってみて」などと下級生に声をかけている優しい上級生の言葉が聞こえてきました。ゲームが進むと、「このゲーム難しくない?」「もっと教えて」と、上級生を信頼して頼りにしている低学年の声も聞こえてきました。みんなの絆を深める、心温まる機会となりました。

## 心広がる「おはなし会」♪

7月18日（木）2～3校時に、甲斐市立図書館ボランティア「アリスの部屋」の皆さんによるおはなし会がありました。この日は2校時は1年生に、3校時には2年生におはなし会をしていただきました。

手ぶくろ人形による「かっぱ」、「コカのカメ」の語り、絵本「11匹の猫」の朗読またそのシリーズの紹介、楽しい手遊び「♪いちにのさん」、大型絵本「ともだちや」、新聞紙話「おふね」の朗読をしてくださいました。子どもたちからは「おもしろーい」「わーすごい」という声が聞かれ、アリスの部屋の皆さんも玉幡小学校の子どもたちはよく聴いてくれて、子どもらしい反応をすぐ返してくれて、来るのをとても楽しみにしている、との温かいお言葉をいただきました。

読書や読み聞かせには、語彙や言語能力の発達、想像力・感受性が豊かになること、人の気持ちが分かる等の効果があるとされています。本や話、人の思いや心に触れ、心が広がる大変貴重な経験となりました。



## 「続ける」ということ♪

7月23日(火)をもって、71日間の1学期が終業となります。この間保護者の皆様、地域の方々には、学校の教育活動に際して多くのご理解ご支援をいただきました。71日間を無事に終えられますことに、重ねて御礼申し上げます。

71日、文字にしてみればたったの3文字ですが、この間子どもたちは新しい学年となり、新しい先生や仲間との出会いがあり、新しい学習や役割、目標などに向かって、一日一日を積み重ねてきたことと思います。全校の子どもたちの「学校生活のようす」を見ると、「〇〇の学習に最初は苦心していたけれど、復習をがんばり自分のものにしてきました」「初めは難しかった鉄棒を、練習を繰り返して、逆上がりができるようになりました」「係の仕事を毎日コツコツと続けて、クラスのみんなからすごいねと言ってもらえました」・・・などの担任の先生の言葉を見て、一人一人の子どもたちのすべてが努力してきたこと、あきらめずに頑張ってきたこと、そして、この71日の間に296人の子どもたち一人一人が着実に力をつけたことを感じて、ほんとうにうれしい気持ちになりました。

登校して、今日はこれを学習した、係をきちんとやった、友だちと仲良く遊んだ、先生に褒めてもらった・・・そんなことは一見あたりまえの日常の風景に感じるかもしれませんが。以前、こんな言葉を目にしたことがあります。「才能とは、特別なこと、すごいことができる力ではない、続けることが才能なのだ」というものです。

子どもたちは、ご家族に送り出してもらい、登校して先生や仲間といっしょに学校で学習やその他の活動を続けてきた、その途中には、いくつかのハードルもきつとあったはずですが、でもあきらめないで、一見あたりまえのことを71日間続けて、それぞれが力をつけ1学期の終業式を迎えることができたこと、学校にいる一人一人の皆さんが努力を続けることができる素晴らしい才能を持っていること、そんな皆さんを誇らしく思う気持ちでいっぱいです。お子さんが1学期を終えて、家に戻りましたら、ぜひたくさん褒めて、励ましてください。



さて、子どもたちは、7月24日(水)～8月25日(日)まで夏休みを迎えます。交通事故や水難事故等に遭わないよう注意するとともに、規則正しい生活が送れるようご指導をお願いします。また、苦手なことに取り組む、やってみたいことに挑戦する、家の手伝いをしたり、地域の行事に参加したりするなど、楽しく、充実した夏休みを過ごせるようよろしくお願いします。

そして8月26日(月)には、また一回り大きくなった子どもたちと、笑顔で会えることを何よりも楽しみにしています。



# 夏休み

